

第48週の発生動向 (2004/11/22 ~ 2004/11/28)

- 手足口病については、**八戸、むつ保健所管内**で警報が出されたため、他の地域についても注意が必要です (八戸:先週37人→今週54人、むつ:先週12人→今週20人)。
- 感染性胃腸炎**については、増加傾向が続いているため、注意が必要です。特に、むつ保健所管内の患者報告数が増加しています。

第48週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ															-1
(60) 咽頭結膜熱			3	0.30									3	0.07	1
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	0.63	15	1.50	2	0.22	1	0.20	6	1.00	3	0.75	32	0.76	-14
(62) 感染性胃腸炎	31	3.88	19	1.90	17	1.89	7	1.40	7	1.17	24	6.00	105	2.50	38
(63) 水痘	9	1.13	12	1.20	12	1.33	7	1.40	20	3.33	8	2.00	68	1.62	1
(64) 手足口病					54	6.00	13	2.60	7	1.17	20	5.00	94	2.24	15
(65) 伝染性紅斑	1	0.13	3	0.30	2	0.22	2	0.40	6	1.00			14	0.33	9
(66) 突発性発疹	1	0.13	9	0.90	5	0.56			3	0.50	3	0.75	21	0.50	-5
(67) 百日咳															-2
(68) 風疹					1	0.11							1	0.02	1
(69) ヘルパンギーナ	5	0.63	2	0.20									7	0.17	3
(70) 麻疹(成人を除く)															
(71) 流行性耳下腺炎	3	0.38			11	1.22	1	0.20	2	0.33			17	0.40	-4
(73) 急性出血性結膜炎	1	0.50											1	0.09	1
(74) 流行性角結膜炎			1	0.33									1	0.09	-4

	定点数			
	インフルエンザ	小児科	眼科	基幹
青森	13	8	2	1
弘前	15	10	3	1
八戸	14	9	2	1
五所川原	7	5	1	1
上十三	9	6	2	1
むつ	6	4	1	1
合計	64	42	11	6

※ インフルエンザ定点については、内科定点と小児科定点を合わせたものです。

■ は注意報、■ は警報です。 「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (16年計には、今回届出された人数を含む)

- (59) RSウイルス感染症 (五類定点把握疾患) 五所川原: 2人、弘前保健所管内: 6人 (16年計 87人)
 (82) マイコプラズマ肺炎 (五類定点把握疾患) 八戸保健所管内: 6人 (16年計 107人)

感染症の窓

ウイルス性肝炎 (Viral hepatitis)



: A型、B型、C型肝炎ウイルスは一般的に知られています。最近、北海道の焼肉店で豚レバーや内臓肉などを食べた6人が**E型肝炎ウイルス**に感染し、うち1名が**E型肝炎**ウイルスによる劇症肝炎で死亡するという報道がありました。**E型肝炎**は、途上国では主に水系感染ですが、わが国では、イノシシの生レバーやシカ肉の生食による感染例が報告されています。

病原体 : A型、B型、C型、D型、E型、G型、TTV型ウイルスがあります。

感染症法(平成15年改正) : A型、E型は全数把握四類に指定され (四類は動物由来の感染症を多く含む)、それ以外は全数把握五類に指定されています。

症状 : 全身倦怠感、悪心、嘔吐、食欲低下、持続する発熱、上腹部膨満感、皮膚が痒い、尿の濃染、クモ状血管、黄疸など各型とも同様がいずれかの症状を伴います。

感染経路

E型肝炎は主として、**ウイルスで汚染された食品や動物の臓器または肉の生食など**を介した経口感染です。

A型肝炎: 国内の衛生状態の向上とともに患者数は減少しましたが、最近でも感染例はあり、汚染された食品や水を介して感染します。尚、**A、E型**の予防としては、**肉類、魚介類を十分に加熱して食べることや排便後の手洗いを励行することが重要です。**

B型、C型肝炎、その他のウイルス性肝炎: 主にウイルスに汚染された血液等を介して感染します。**B型**は母子感染や家族または異性間の水平感染もあります。**C型肝炎**の多くは慢性化することがあります。**D型肝炎**は**B型肝炎**と同時に感染し、重症化することがあります。**G型肝炎**も**C型肝炎**と重複感染することが知られていますが、**G型、TTV型肝炎**については、詳細な究明が必要とされています。